

ねやがわし 社会福祉協議会だより 「虹」

No.159
令和4年5月1日発行

Q:あなたにとっての
“幸せ”とは?

周りの人の笑顔

母を見送り、人になって、20年が過ぎました。誰にも連絡がとれず、自分の思い通り何事も出来ず、(海外、国を問わず)旅行が出来る事です。足を悪くしたり、パソコンを押して、お母さんお母さんです。

今日も、日 元気で!!

和顔愛語



主な記事

- 令和4年度事業計画・予算～設立70周年を迎えて～ ……2～3
- 運転協力者認定講習会参加者募集 ……4
- 日常生活自立支援事業～日々の生活に寄り添う支援～…4～5
- 災害に強い地域づくりをめざして～災害時～に備えた座談会から見えてくるものとは～ ……5
- 寝屋川市介護者の会～コロナ禍で変わったこと・変わらなかったこと～ ……6
- 善意銀行だより ……6
- 社協からのお知らせ ……7
- ねやがわし社会福祉協議会だより「虹」のあゆみ ……8

【寝屋川市社協70周年を記念して】

市民のみなさまの日頃よりのご支援ご協力によって、寝屋川市社会福祉協議会は、5月で設立70周年を迎えることができました。

70周年を記念した企画などを現在検討していますが、今号では『あなたにとっての“幸せ”とは?』というテーマで、市民のみなさまにコメントしてもらいました。

みなさまの“幸せ”の持続や実現のため、本会はこれからもさまざまな取り組みを進めていきます。

ねやがわし社会福祉協議会だより
虹 159号 令和4年5月1日発行

発行所/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
編集者/社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会
広報編集委員会

〒572-8566 寝屋川市池田西町2-4-5市立池の里市民交流センター内
電話 072-838-0400 ◆ FAX 072-838-0166
◆ 業務日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分

ねやがわし 社会福祉協議会だより 「虹」の歩み

昭和44年3月 創刊号

昭和46年12月 NO.4

昭和53年4月 NO.10

昭和60年11月 NO.20

平成元年2月 NO.30

平成4年7月 NO.40

平成7年2月 NO.50

創刊号 善意銀行の一環として行われていた地域献血を掲載。当時は預金の考えがあるなかで、本会では献血者の善意として輸血を必要とする方への橋渡しを行っていました。

NO.4 題字として、【明るいまちづくりのかけ橋となる】という意味を込めて虹が使われるようになりました。

NO.10 本会が総合福祉センター(当時)に移転。その他にも第三回社会福祉大会開催の記事を掲載しました。

NO.20 介護を行われている家族を対象として246人にアンケート調査を実施。介護者の会の設立の礎となりました。

NO.30 昭和43年より3回/年の発行に。節目の30回を迎え福祉広報紙としての内容充実を誓いました。

NO.40 サマーボランティア・スクールへの参加を呼びかけ。障害児者やその家族との一泊キャンプなどが行われました。

NO.50 阪神淡路大震災の発生。本号では炊き出しボランティアの調整や義援金の窓口、被災者に向けた特別貸付を特集しました。

阪神大震災 随時着実な取り組み

NO.51～NO.100は次号にて特集予定 お楽しみに!

編集後記

れんこん畑

5月の声が聞こえてくると、我が家には鹿兒島より名物知覧茶の新茶が届きます。中学時代の友人が今年も元気です。共にご一緒しているよ…という便りと共に送ってくれるのです。新茶の香りと友人の近況にほっとしながら、新しい春、新年度、新学期のスタートを感じます。

私は長い年月、この季節をたくさんのかわいい子どもたちとすごしてきました。新しい環境にまだ慣れずに泣く姿、進級して新しいカラー帽子がうれしい子どもたち、大きく見えるランドセルを背負って見せにきてくれる一年生のお友達。そうした姿に「これから元気にたくましく育ってほしい」と一年の中で一番強く願う季節でした。

新年度、新入時、新学期と新しいことが始まる時は少しの心配や不安があるけれど、来年の春に一年を振り返り「元気にすこせよかつた」「目標がかなった」「なりたい自分になった」とほっとできるよう、今年も一日、一日を大切に過ごして行くと願います。

来年も知覧茶が届く事を楽しみにしています。(一十生)

ホームページ フェイスブック ツイッター インスタグラム

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

寝屋川市社協 検索

令和4年度 事業計画・予算



設立70周年を迎えて

本会は70周年を迎えるにあたって、社会福祉活動で活躍し本会の発展に寄与された個人・団体に表彰状や感謝状をお渡しするといった「社会福祉大会」などを予定しています。

令和4年度では

本会は地域福祉活動を発展させていくために、幅広い世代の活動への参画を促し、それを支える自主財源の増加を目指します。また、コロナ禍によって深刻化した生きづらさなどの課題に対して、住民主体の地域福祉活動を土台に、分野を越えてさまざまな人・団体とつながり課題の解決を行っていきます。

5つの重点目標

1 つながり・しくみづくり

幅広い世代の活動への参画を実現するために、活動の魅力を伝えていくとともに、しくみづくりを進めます。

2 新たな場づくり

高齢者の介護予防と社会参加の促進を目的に、新たな通いの場づくりなどを行います。

3 困りごとをひとりで抱えない

社会的孤立・経済的困窮・生きづらさなどを抱えた方への支援をします。

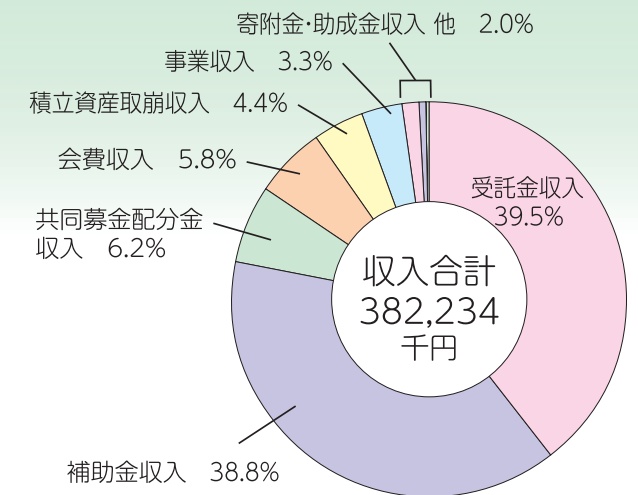
4 地域で安心して暮らす

校区福祉委員会の見守り活動を基盤に、平常時のみならず災害時にも対応できるような見守りのネットワークづくりを推進します。

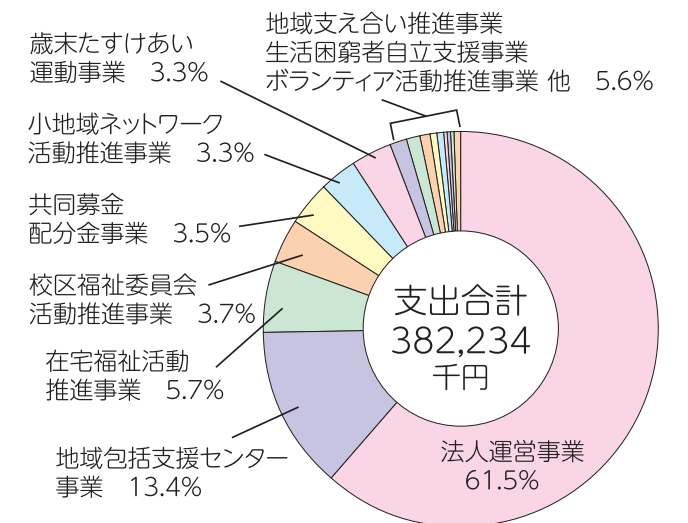
5 活動の可能性を広げる

住民賛助会員募集、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金などの自主財源の増加を目指し、課題の分析と対策を実施していきます。

令和4年度予算 <収入>



令和4年度予算 <支出>



☎ 総務課・地域福祉課 ☎072-838-0400

福祉の心を
「共」に「育」む

「福祉教育」



この取り組みは、
「1 つながり・
しくみづくり」
の一例です。

災害時にも強い地域づくりをめざして

～災害時に備えた座談会から見えてくるものとは～

本会では平成30年度から令和元年度まで“マイ防災プラン”づくり研修を実施しました。令和3年度は、配慮が必要な方と地域の活動者(校区福祉委員など)で顔の見える関係性をつくるために、モデル校区を募集し「災害時に備えた地域丸ごと座談会」を実施しました。

地域丸ごと座談会の様子

座談会では、災害が起こった場合に心配なことや避難時に困ることなどをお互いに語り合いました。意見交換を通して校区福祉委員は支援者でありながらも被災者となり得ることもあり、「災害時に備えて地域で出来ることは何か」「まずは日頃からお互いの顔の見える関係性づくりを行うことや、障害者や当事者の方と交流する場を地域で企画して災害に強い地域づくりに活かせるといい」といった意見がありました。

本会では、今後も他の地域で座談会などを行うことにより災害に強い地域づくりを進めていきます。



少人数に分かれグループごとに意見交換



☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

運転協力者認定講習会 参加者募集

本会では、外出が困難な高齢者や障害者を対象に、通院や行事参加など目的地までの送迎をボランティアの協力を得て行っています。運転ボランティアに協力いただける方を募集します。

また、安心して活動するために国土交通省認定の講習会を開催します。講習会を受講して、ボランティア活動に参加しませんか？

運転ボランティア活動で有意義な時間を過ごしませんか

日時 6月4日(土)10時～17時30分

6月10日(金)10時～13時

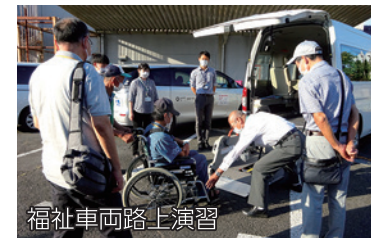
場所 市立保健福祉センター4階
健康指導室A・Bほか

内容 関係法令の講義や福祉車両の特性についての演習など
(2日とも受講が必要)

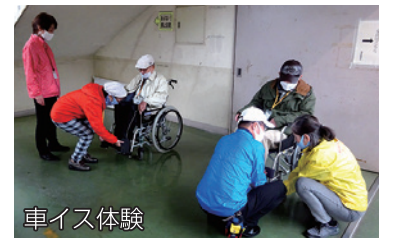
対象 ・寝屋川市内在住、在勤の人
・普通免許をお持ちで、日常、車を運転されている75歳までの人
(パーパードライバーの方、運転に自信のない方はご遠慮ください)
・月1回以上活動(無償活動)できる人

定員 20人(定員になり次第締め切り)

参加費 無料(福祉関係事業所に登録、勤務している人は11,500円の受講料が必要となります)



福祉車両路上演習



車イス体験



アイマスク体験



関係法令の講義

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

日常生活自立支援事業

～日々の生活に寄りそう支援～

日常生活自立支援事業は、判断能力に不安がある方を対象に福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う福祉の取り組みで、利用するには本人が契約に同意する必要があります。

利用開始後も状況に合わせて支援終了(解約)が可能な事業のため、本人が自らの生活について選ぶことができるように支援します。

相談

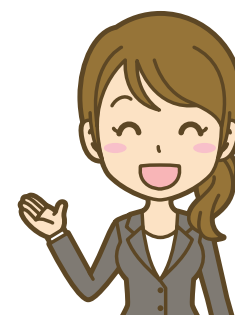


・財布をどこに置いたか忘れてしまう
・お金を計画的に使えない
・福祉サービスを使いたいけど方法が分からない …など

・2回の面談
・契約

支援開始

収支の見直しや困っていることについての声掛け、必要なサービスへの橋渡しをします。



判断能力が低下し、今以上の支援が必要となった

自身で金銭管理が可能となった …など

支援終了

～成年後見制度～

知的障害・精神障害・認知症などにより、一人での判断が難しい方をお手伝いする制度です。

～その他～

・自身で金銭管理が可能になった
・必要なサービスが使えるため支援の必要がなくなった …など

☎ 生活支援課(日常生活自立支援事業担当) ☎072-838-0199

社協からのお知らせ

献血だより 400mL献血にご協力下さい

～献血は命をつなぐことのできるボランティア活動です～

献血は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いしています。都合により、日時・場所が変更される場合があります。



日程	受付時間	実施予定場所
5月 19日(木)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅前
5月 30日(月)	10時30分～16時30分 (休:12時～13時)	イオンモール四條畷
6月 2日(木)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	コーナン東寝屋川店
6月 3日(金)	10時～16時30分 (休:12時30分～13時30分)	エスポアール

☎ 北大阪赤十字血液センター ☎072-632-4747(市外局番からおかけください)

元気アップ介護予防ポイント事業
介護予防サポーターの募集

＜活動内容＞

介護予防サポーターとして、高齢者施設、障害者施設、保育所などの児童施設で、施設の方のお手伝い(利用者の方の話し相手、園芸・草刈り、食器の片付けなど日常生活の補助)をしていただきます。

＜事業内容＞

活動するとポイントが付与され、貯まったポイントは交付金(年間10,000円限度)に換えることができます。

＜条件＞

65歳以上の市内在住の方で、1回の登録研修(2時間程度)を受講すると、介護予防サポーターとして登録され、活動ができます。

日時 5月9日(月)10時～12時
場所 市立保健福祉センター4階健康指導室A・B
申込 5月2日(月)までに電話
参加費 無料

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

65歳以上の市民の方、
得意なことを活かしてみませんか？



施設の草刈り作業中

令和4年度
共同募金の配分申請の受付を開始します

- 期間 5月1日(日)～20日(金)
- 対象 大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体
※介護保険事業は対象になりません。

☎ 大阪府共同募金会 ☎06-6762-8717

〈広告〉

優しさと思いやりの「こころ」で接します。

お元気な方から要介護の方まで幅広くご入居頂けます。

安心して暮らせる
環境とサービスを
提供いたします。

良
心
価
格

115,000円～

- 60歳以上の方
- 要支援・要介護・認知症の方
- 施設入所待ちの方

スタッフ
募集!

こころ
老人ホーム
寝屋川市立第3中学校南側
☎072-826-6777
お電話いただければ
お迎えにまいります。

寝屋川市介護者の会

～コロナ禍で変わったこと・
変わらなかったこと～

寝屋川市介護者の会のみなさんにインタビューしました。

Q.コロナ禍で変わったことはありますか？

A.コロナ禍前は、介護をしている方同士のリフレッシュ事業や新年交流会など対面での交流を大切に企画していましたが、コロナ禍になり、介護をしている方やその家族の健康を守るためにも行事を中止にする状況が続いたことです。そんな中、ひとりの会員の声から千羽鶴プロジェクトを始めました。広島県の平和記念公園に折り鶴を届けることを目標に、介護者の会でこれからの日本の平和を祈りながら折りました。会えなくても会員のみんなとつながっていると感ずることができ、指先を使うことで介護予防にもつなげることができたことも良かったと感じています。

Q.コロナ禍でも変わらなかったことはありますか？

A.可能な範囲で、介護相談サロン、認知症介護家族交流会を開催してきました。

コロナ禍であっても介護に悩む方は沢山いるので少しでも息抜きになってもらえたら嬉しいなと思いい活動しました。

Q.最後に、みなさんの思いをきかせてください。

A.コロナ禍であっても在宅介護をしている方は、感染を恐れて外出がなかなかできない不安を感じていたり、会員の中には、施設入所されている家族と面会ができずもどかしさを感じているとおききします。これからも変わらず、少しでも力になれるよう活動していきたいと思います。



介護者の会の会員のみなさんがつなげた折り鶴の一部

☎ 地域福祉課 ☎072-838-0400

善意銀行だより

あたたかいご寄附をありがとうございました！♥

(令和4年1月1日～令和4年3月31日) 敬称略

預託者氏名
日本音楽ヘルパー協会
高柳5丁目北婦人会
寝屋川市グラウンドゴルフ協会
匿名 5件

※一般寄付金への寄附金合計は39,450円でした。
善意銀行への寄付金合計は6,693円でした。

預託者氏名	品名
ケアハウス	長期保存米
ロイヤルライフ・カミダ	レトルト食品
特別養護老人ホーム	
ロイヤルライフ・天寿苑	
社会福祉法人 みつわ会	缶詰
匿名 4件	インスタント麺、 長期保存米、缶詰など

＜お願い＞
お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。
ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

車いすは本会の取り組みで活用します

「家庭介護援助ボランティアほうれんそう」から本会に車いすを寄贈していただきました。ありがとうございました。

なお、「家庭介護援助ボランティアほうれんそう」は、令和3年11月に、35年にわたる活動を終えられました。長年の活動、本当にお疲れ様でした。



代表の村井ひとみ氏

☎ 生活支援課(善意銀行担当) ☎072-812-2040